● 科目名/Subject	課題解決型(PBL)演習B
@ 曜日・講時・教室/Day/Period/Place	後期 水曜日 3講時 川北キャンパスC102
∮ 科目群/Categories	全学教育科目展開科目-国際教育科目
● 単位数/Credit(s)	2
◎ 対象学部/Object	全
● 担当教員(所属) ✓Instructor (Position)	新見 有紀子, 渡部 留美 所属:高度教養教育・学生支援機構
● 開講期/Term	2/4/6/8セメスター
○ 科目ナンバリング	ZDG-GLB808E
● 使用言語 ── /Language Used in Course	英語

【展開ゼミ】Learn about and solve problems of local companies in Sendai (仙台地元企業について学び、課題を解決しよう) - 国際共修ゼミ-
この授業は、仙台商工会議所青年部(仙台の中小企業の若手経営者や次世代経営者、各企業の代表者が推薦する社員など、幅広い業種の方々が所属)の協力を得て実施する。この授業では、留学生と国内学生が協働して、地元企業について学び、課題を発見し、その課題に関連する調査を実施し、解決策を提案するというプロジェクトワークを行う。留学生と国内学生それぞれの視点や立場を生かし、ディスカッションや調査して解決策を導くための新たな提案を行うことにより、企業・学生・地域社会にとって意義のあるものにする。履修学生はこのプロジェクトを通して、地域のビジネス現場を知り、課題発見・解決能力やコミュニケーション能力を含む社会人としての素養(エンプロイアビリティ)を高めることを目的としている。国内学生は、英語能力や異文化協働能力を向上させる機会となる。留学生は、日本の企業文化やビジネスの現場について理解を深めることができる。本授業は、主として英語によって行われるが、日本語も補助的に使用する場合がある。
・課題を発見し、解決策を導き出し、提案することができる ・異文化間コミュニケーション能力を身につける ・仙台の企業について理解を深める ・社会で働く上で必要となる資質・素養を向上させる By the end of the semester, students should be able to: ・Find problems, develop and propose solutions to the problems ・Acquire cross-cultural communication skills ・Understand Sendai's local companies ・Develop competencies required for working in society
第1回 オリエンテーション・授業の概要説明 Week 1 Course orientation, explanation of the course 第2回 日本の産業やビジネスの概要・ディスカッション Week 2 The Japanese industry and business, discussion 第3回 プロジェクト概要、協力企業の紹介、グループ分け Week 3 Introduction of the project outline and local companies for the project, forming groups for the project 第4回 仙台の企業とビジネス ゲスト: 仙台商工会議所青年部、地元企業の方々による各企業の紹介と課題の提示、企業の方との顔合わせ・打合せ Week 4 Local companies in Sendai, introduction of local companies and their problems, discussion with them [guest speakers from SENDAI Young Entrepreneurs Group] 第5回 ビジネスマナー基礎、企業訪問準備グループワーク Week 5 Basic business manners, group work for visiting a local company 第6回 企業訪問(11/11~23の間に企業訪問)と中間報告準備 Week 6 No class: Visit a local company during Nov.11th ~23rd, preparation for interim report 第7回 訪問結果の報告(各5分程度)、フィードバック、調査計画作成 Week 7 Brief report on the company visit (5 minutes for each group), feedback, group work for developing a research plan

	第8回 社会調査法、調査計画修正 Week 8 Methods for social research, group work for modifying the research plan
	第9回 調査実施(12/2~12/14) Week 9 : Conduct research during Dec. 2nd - Dec. 14th
	第10回 プレゼンテーションについて、プレゼンテーション準備 Week 10 Presentation guideline, preparation for the final presentation
	第11回 プレゼンテーション準備 Week 11 Preparation for the final presentation
@	第12回 ファイナルプレゼンテーションリハーサル Week 12 Rehearsal of the final presentation
	第13回 プレゼンテーション修正 Week 13 Preparation for the final presentation
	第14回 プレゼンテーション Week 14 Final presentation
	第15回 振り返り Week 15 Reflection
	1、授業への出席状況 45%
	Attendance 45% 2、中間報告 10%
	Interim report 10% 3、プロジェクトワークへの取組状況 10%
	Project work 10%
	4、最終プレゼンテーション 25% Final presentation 25%
成績評価 方法	5、最終レポート 10% Final Report 10%
/Evaluation Method	* 詳細は最初の授業で説明します。 成績評価基準
	成績評価基準 成績の評価 GP 5段階評価 素点 AA 100-90 4.0
	A 89-80 3.0 B 79-70 2.0 C 69-60 1.0
	D 59-0 0 AA·····Excellent (90-100%)
	A·······. Good (80–89%) B·······. Fair (70–79%) C·······. Passing (60–69%)
	D·······. Fail (0–59%)
教科書 および 参考書	
/Textbook and	
References ————— 與連URL	
/URL	
授業時間外 学修 /Preparation	授業時間外にグループで相談したり準備したりする必要があります。 You will be asked to work outside of class for the group work.
and Review	
実務・ 実践的授業 /Practical	
business ※Oは、 実務・実践的 授業であるこ	
授業であることを示す。 /Note:"O"	
Indicates the practical business	
授業への	
パソコン 持ち込み 【必要/不要】	
/Students must bring their own	必要 Yes
computers to class	
[Yes / No]	

連絡先 (メール アドレス等) ※Emailは@ の置き換え に注意 /Contact (Email, etc.)	
@ その他 ∕In Addition	全回出席を必須とします。定員25名のため、希望者多数の場合は抽選を行います。 この授業は、TGL指定科目です。受講することでTGLポイントが2ポイント加算されます。 You are expected to show up to all the classes. The maximum number of students for this course is 25. 2 points will be provided for TGL students after completion of this course.
更新日付	2020/02/13 13:54